



桜の花とチューリップに囲まれて入学！！

広島なぎさ中・高の管弦楽部の素晴らしい演奏の中、6年生に手を引かれステージ中央から「新入生の紹介」が始まりました。名前を呼ばれると大きな返事に合わせて手を挙げます。元気な様子に会場の皆さんから大きな拍手。68名の一年生を迎え、全校児童419名、教職員数62名で出発しました。

「入学おめでとうございます」の声を聞くと「ありがとうございます」の言葉に続き、礼をします。もう、すっかりなぎさ式の『先に言葉、後に礼をそえて』が身についています。

校長からは、つくし組、ごごみ組の名前について、「野山に生えている野草で食べることができます。春の喜びを人々に届けてくれる植物です。」と新入生への期待を話しました。

続いて、

かしこく

ゆたかに

たくましく

世界はともだち

というなぎさっ子の合言葉を伝え、「これから、しっかり学び、心をいっぱい豊かにして、体を鍛え元気に過ごすなぎさっ子になってほしい。そして、世界中の人と仲よくすることも大切。」と伝えました。

入学式後、教室では、担任の石原先生と佐々木先生から写真を見せてもらいながら、プールや運動会、宿泊学習など、なぎさの楽しい学校生活を伝えました。

今日から、わくわくドキドキの一年生のはじまりです。



ソメイヨシノ

ソメイヨシノは日本産のサクラの品種。桜の中ではもっとも多く植えられている品種で桜の代表。ソメイヨシノの名前の由来は、最初に育成された「染井村」の名称にちなみ「染井吉野」と命名された。

4月の生活目標

○あいさつをしよう

○生活のリズムを整えよう

子どもを伸ばす4つのルール

～「早寝・早起き・朝ごはん・読書」～

新学期、意欲を持ってスタートした子どもたちにとって大切なことは生活リズムです。

●早寝

～睡眠中に脳は作られる～

睡眠中、今日の体験を知識に変換します。

●早起き

～朝は脳の勝負時～

朝早く起きると、セロトニンという、しみじみと満ち足りた気持ちに関与している物質のおかげで、満足感や充実感を感じやすいのです。

●朝ごはん

～脳への燃料補給～

睡眠中、脳は、活発に働いています。成長期にある子どもたちの脳に昼食までのエネルギーを補給しなければなりません。

●読書

～ユニークな発想の素～

読書をする、自分ではとうてい体験できない世界を本の中で疑似体験をすることができます。脳にユニークな発想を取り入れることができますと言われています。とりわけ、読み聞かせや音読は、音声を通してイメージ豊かな世界に子どもたちをいざなうことができるようです。

